

令和6年3月27日（水）

【照会先】鳥羽市観光商工課 村田

三重県鳥羽市鳥羽3-1-1

TEL0599-25-1157 fax0599-25-1159

報道機関 各位

中心市街地5か所に鳥羽や海に関する書籍を設置 「鳥羽うみライブラリー」について

【背景と事業実施の目的】

鳥羽市は、海との独自の関係性から長い時間をかけて海女文化、漁業文化、生活文化、自然風景、歴史文化、食文化が築き上げられ、地域の魅力や特徴や鳥羽らしさが形成されています。その総称を第二次鳥羽市観光基本計画（計画期間：H28～R7）では「鳥羽うみ文化」として名付けています。行政や民間、地域が「鳥羽うみ文化」を理解し、守り、活かしていく事業を展開しています。

また、本市の中心市街地（鳥羽駅周辺）は、徒歩圏内に鉄道や有人離島と本土をつなぐ市営定期船、伊勢市と鳥羽市を結ぶバス、そして大型客船が寄港するなど様々な交通の結節点となっています。また、海について学ぶことができる観光施設も豊富であることから、既存の施設や地域資源を有機的に連動することが、地域の魅力づくりにつながると考えます。

一方で、海側のエリアに大型の観光施設が複数立地していることもあり、多くの観光客が訪れているものの、観光客の導線は海側に偏っているのが現状です。

そこで、中心市街地（鳥羽駅から中之郷駅周辺のエリア）において、市民や来訪者が鳥羽の歴史や文化、海の魅力を感じる居場所や周遊促進のきっかけになることを目的に令和6年3月17日（日）に鳥羽や海にまつわる本を読むことができる拠点として既存施設内5か所にテーマ性を持った書籍を集め「鳥羽うみライブラリー」を設置しました。「鳥羽うみライブラリー」の概要はページのとおりです。



近鉄中之郷駅の鳥羽うみライブラリー



子どもたちが本を読んで談笑する様子

鳥羽うみライブラリー概要

設置月日：令和6年3月17日（日）

設置内容：市内5か所（詳細は下表を参照）に設置

各テーマ別の書籍を設置（江戸川乱歩館は既存の書籍を鳥羽うみライブラリーとして位置づけ）、総書籍数約695冊

閲覧は自由

利用方法：各鳥羽うみライブラリー内で設置された書籍を読む、ライブラリー間の持ち運びは不可能（紛失防止のため）

その他：江戸川乱歩館については通常の施設入館料が必要、ほかは入場及び利用無料

各鳥羽うみライブラリー	ライブラリー名(テーマ)、書籍の種類	書籍数(3/17現在)	その他
① 鳥羽マリンターミナル (鳥羽市鳥羽1丁目-2383-51)	みなと館 島、船、灯台、伊勢志摩、 国立公園、文学など	約170冊	2階交流ラウンジに 設置
② 鳥羽市歴史文化ガイドセンター (鳥羽市鳥羽1丁目-10-48) 定休日：火曜日	水軍館 九鬼嘉隆、九鬼水軍、鳥 羽城、日本史など	約45冊	1階門野幾之進記念 館入口付近に設置
③ 江戸川乱歩館 (鳥羽市鳥羽2丁目-5-11) 定休日：火曜日、水曜日	ミステリー館 江戸川乱歩、岩田準一な ど	約170冊	既存書籍を利用のた め、新規で書籍設置 なし 入館料必要
④ 近鉄中之郷駅 (鳥羽市鳥羽3丁目2)	えほん館 海に関する絵本や写真、 乗り物に関する本など	190冊程度 (常時100冊を設 置し、定期的入れ かえを行う)	駅舎内2階コンコー スに設置 本棚と椅子は芝浦工 業大学学生により制 作
⑤ 鳥羽大庄屋かどや (鳥羽市鳥羽4丁目3-24) 定休日：火曜日	鳥羽のむかし館 海女文化、真珠、御木本 幸吉、祭りなど	約120冊	1階カフェコーナー に設置
合計		約695冊	

※①②④⑤は新たに書籍を配備、③は既存の施設が所蔵する書籍を鳥羽うみライブラリーとして位置づけ

※今後、書籍数については変更、追加等を行う予定

近鉄中之郷駅で取材を行う上での注意事項

近鉄中之郷駅で取材（写真撮影等）を行う場合は、事前に鳥羽市観光商工課へご連絡をお願いします。

鳥羽うみライブラリー設置に至るまでの経過

建築を学ぶ「芝浦工業大学」や観光まちづくり専門の「國學院大學」との連携



鳥羽3丁目～4丁目境界の昭和の街並みが残る「鳥羽なかまち」で、2020年から空き家のリノベーションや地域の子どもたちを対象としたお祭りの開催などで地域活性化に取り組む芝浦工業大学の地域活性化サークル鳥羽設計室と連携し、近鉄中之郷駅に設置する本棚や椅子を製作しました（左写真：木材を加工している様子、右写真：完成した椅子に腰かける大学生）。

（右写真：完成した椅子に腰かける大学生）。

令和5年3月から協議を開始し、地域の課題や鳥羽うみライブラリーの機能、設置する椅子や本棚のデザインの検討を行ったうえで、本年3月上旬に鳥羽に来訪し、近鉄中之郷駅に設置する本棚と椅子を製作し、3月17日に設置と子ども向けのワークショップを実施し、地域振興に取り組みました。



また、令和4年度に鳥羽市と包括協定を締結している國學院大學と連携し、書籍の選定や収集方法や鳥羽うみライブラリーごとの書籍の分類などを調査や指導いただきました。國學院大學は令和4年度から観光まちづくり学部を創設しており、観光を基軸に持続可能なまちづくりを考え、地域貢献を行っており、この度國學院

大學観光まちづくり学部地域マネジメント研究センターから4回にわたり書籍調査や分類作業を実施していただきました（左写真：書籍を分類する様子）

鳥羽なかまち会や芝浦工業大学とともに地元鳥羽小学校で地域の魅力を伝える



鳥羽うみライブラリーを地域住民にも活用いただくことや地域の魅力を知ってもらうため、令和5年9月22日には鳥羽小学校6年生に対して、鳥羽なかまち会での活動や芝浦工業大学による空き家改修による地域活性化について授業を行いました。外部講師として、鳥羽なかまち会の佐藤代表や芝浦工業大学の学生2名が学校に訪れました。子どもたちからは「な

かまちは通り過ぎるだけだったけど今回の授業で鳥羽のためにやってくれたことを知ってとても勉強になった」「これを機会に行ってみようと思いました」といった感想をいただきました（左写真：鳥羽なかまち会佐藤代表による授業）。